

平成 30 年度

佐賀大学大学院

第 2 次学生募集要項

工学系研究科（博士前期課程）

一 般 入 試
社 会 人 特 別 入 試
外 国 人 留 学 生 特 別 入 試

選抜種別	入学時期	出願期間	試験日	合格者発表日	入学手続期間
一般入試	平成 30 年 4 月	平成 30 年 1 月 15 日(月) ~1 月 18 日(木)	平成 30 年 2 月 16 日(金)	平成 30 年 3 月 8 日(木)	平成 30 年 3 月 23 日(金) ~3 月 27 日(火)
社会人特別入試					
外国人留学生 特別入試					

佐 賀 大 学

目 次

I	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	1
II	一般入試	6
III	社会人特別入試	14
IV	外国人留学生特別入試	19
V	入学手続等	27
VI	教育研究分野等	32
VII	佐賀大学配置図及び佐賀大学への交通案内	35

個人情報の取扱いについて

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律の施行に伴い入学志願者から提出された出願書類に記載されている個人情報については、入学者選抜に係る業務（統計処理などの付随する業務を含む。）以外に、教育目的等（入学金・授業料免除、（入学金徴収猶予）及び奨学金等を含む。）に利用します。

※本学が取得した個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供する事はありません。

佐賀大学大学院への出願方法について

佐賀大学大学院（医学系研究科を除く）では、PDF フォームを利用した願書の受付を行っており、募集要項については、原則としてウェブサイトでご確認いただいております。

志願者は、出願に必要な書類を電子ファイルとして管理できますので、早く簡単に書類作成が可能です。

●出願までの手順（概略）

- ・ 本学ウェブサイトから PDF フォーム等必要な書類をダウンロードしてパソコンに保存してください。必要な書類については、本要項記載の「出願書類等」のページでご確認ください。
- ・ 志願票・受験票等に必要事項を入力後、印刷してください。
- ・ 検定料は、納付書を印刷し銀行で振込手続を行ってください。
- ・ 印刷した出願用封筒ラベルを市販の角形 2 号（240×332 ミリ）の封筒に貼付し、書類一式を入れて提出してください。なお出願用封筒については、学務部入試課においても配布を行っています。
- ・ 出願書類は手書きでもかまいません。

※ PDF フォームとは、PDF の閲覧に利用する無償の Adobe Reader で直接データを入力できるようにした PDF です。

※ Adobe Reader をお持ちでない方は、最新のプラグインを入手してください。

※ A4 サイズの印刷が可能なプリンタのない方、PDF が表示されない方は学務部入試課へ資料請求してください。

I 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

【1】求める学生像

工学系研究科は、理学及び工学の領域を含む関連の学問領域において、創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ研究者・技術者等、高度な専門的知識・能力を持つ職業人又は知識基盤社会を支える深い専門的知識・能力と幅広い視野を持つ多様な人材を養成し、もって人類の福祉、文化の進展に寄与することを目的とします。各専攻の求める学生像は以下の通りです。

■ 数理科学専攻

数学及び数理科学の領域において、知識基盤社会を多様に支える高度で知的な素養のある人材を養成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 主として大学の専門課程の数学の基礎学力及び専門知識を有し、さらに進んだ数学の理論、応用について学ぶ意欲を持つ人
- ② 数学及び数理科学の分野の高度な専門知識を修得し、論理的思考力、問題解決能力を身につけて、社会への貢献を目指す人
- ③ 数学及び数理科学の分野の高度な専門知識を活かし、正確な表現力及びコミュニケーション能力を身につけて、国際的に活躍することを目指す人
- ④ 数学及び数理科学の分野で、即戦力として活動できる高度な専門的知識・能力を持つ教育者、技術者、研究者を目指す人

■ 物理科学専攻

物理学は、全ての自然現象の本質を原理に基づいて理解する取組みであり、現代社会を支える科学技術の基盤ともなる学問です。物理学及び物理科学の領域において、知識基盤社会を多様に支える高度で知的な素養のある人材を養成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 大学卒業レベルの物理学の基礎知識を修得しており、より専門的な知識を身につけて、社会への貢献を目指す人
- ② 物理学を生かした研究開発に意欲を持ち、科学技術を支える高度専門技術者・研究者を目指す人
- ③ 物理学の分野を中心として、国際的に活躍することを目指す人

■ 知能情報システム学専攻

社会の様々な分野において、(IT) 情報技術は不可欠のものとなりつつあります。この技術を基盤から支え、さらに発展させていくために、情報科学及び情報工学の学問領域における深い専門知識・能力及び幅広い視野をもって知識基盤社会を支える人材を養成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① コンピュータをはじめとする高度な技術に対する基礎学力を持つ人
- ② IT 及び IT 関連分野の高度な専門知識を修得し、高度なソフトウェアの開発を通して社会に貢献しようとする人
- ③ IT 及び IT 関連分野の高度な専門知識を活かして、先進情報システムの構築に取り組もうとする人
- ④ IT 及び IT 関連分野の技術交流により国際的に貢献することを目指す人

■ 循環物質化学専攻

環境にやさしく持続可能な循環型社会を実現するためには、物質の機能発現を追求する理系的発想とその応用を図る工系的発想の両者から総合的視野に立てる人材が不可欠です。このような人材育成を図るために、化学の領域において、循環型社会を実現するための確かな知識と実践力を持つ高度な専門技術者等を養成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 化学の基礎学力とともに、専門分野への興味や新しい分野を切りひらく熱意と向上心を持つ人
- ② 循環物質化学分野の高度な専門知識を修得し、環境配慮型の化学技術を構築することにより、社会に貢献することを目指す人
- ③ 循環物質化学分野の高度な専門知識を活かして、物質の存在原理を解き、構成を把握し、特性評価を行い、高付加価値の物質を創製して、循環型社会に貢献することを目指す人
- ④ 循環物質化学分野の技術交流に取り組み、国際的に活躍することを目指す人

■ 機械システム工学専攻

人が関わるすべての分野において、機械システムの高機能化・知能化に対する社会的ニーズが高まってきています。これらの機械技術に対する要求にこたえるために、高度な専門的知識・能力を持つ職業人を養成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 数学の基礎学力と機械工学における専門的知識を持つ人
- ② 機械及び機械関連分野の高度な専門知識を修得し、ものづくりを通して社会に貢献しようとする人
- ③ 機械及び機械関連分野の高度な専門知識を活かして、自ら問題の解決に臨むことを目指す人
- ④ 機械及び機械関連分野の技術交流により国際的に貢献することを目指す人

■ 電気電子工学専攻

電気電子工学は、現代社会の基盤であるエレクトロニクス産業や情報通信関連分野、業種を問わない広範な産業、さらには各種社会インフラ等の核となる科学技術として進展しています。このような幅広い分野で科学技術創造立国を担う創造的人材を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 電気電子工学分野の高度な専門知識を修得し、社会に貢献しようと目指す人
- ② 電気電子工学分野に関する研究開発に意欲を持ち、電気電子工学分野の高度専門技術者を目指す人
- ③ 電気電子工学分野を中心として、国際的に活躍することを目指す人

■ 都市工学専攻

都市工学は、安全・快適な都市及び地域を構築・維持するための総合的技術を取り扱う学問です。都市工学の分野では、都市環境基盤整備から建築・都市デザインに至るまで多種多様な人材が求められています。このような人材育成を図るために、都市工学の領域において、高度な専門的知識・能力を持つ職業人を養成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 都市環境基盤整備のための高度な専門知識を活用し、現象の把握並びに工学的観点からの確かな判断ができることを目指す人
- ② 建築・都市デザインのための高度な専門技術と背景にある知識を修得し、独創的かつ合理的な発想力と表現力を鍛錬したい人
- ③ 都市工学及び都市工学関連分野において、地域発展あるいは国際的に貢献することを目指す人

■ 先端融合工学専攻

高齢化社会が進展する中、環境との共生を図る人にやさしい社会の構築が社会的課題となっています。これらの要請にこたえるために境界領域の医工学、新材料分野へ展開し、課題解決の図れる人材を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 工学あるいは自然科学に関する基礎知識を持つ人
- ② 医工学や新材料分野の高度な専門知識を修得し、循環型社会の構築へ貢献することを目指す人
- ③ 医工学や新材料分野の高度な専門知識を活かして、人間と環境に優しい社会の構築及び社会の持続的発展に貢献できる技術者を目指す人
- ④ 医工学や新材料分野の技術交流により国際的に活躍することを目指す人

【2】 入学者選抜の基本方針

工学系研究科の教育・研究理念に基づき、教育目的・教育目標・教育方針に沿った人材を育成するために、開放性、客観性、公平性を旨とした多様な入試方法と多面的な評価方法により入学者を受け入れます。

一般入試

入学の機会を広く保障するために、大学院受験資格を有する全ての者を対象とした一般入試を行います。本入試では、大学院で学ぶために必要な基礎学力及び専門分野の専門的知識を有しているかを、外国語と専門科目の筆記試験及び成績証明書等によって評価します。また、専門分野での学習及び研究を遂行するための能力や資質を有しているかを、口頭試問によって評価します。さらに、各専攻に対する明確な志望動機や入学後の研究意欲等を有しているかを、面接試験によって評価します。

推薦入試

一般入試の成績だけでは評価困難である特徴的な資質や能力、志望分野への研究意欲や熱意を重点的に評価する推薦入試を行います。大学院で学ぶために必要な基礎学力、専門分野の専門的知識及び研究遂行能力等を有しているかを、口頭試問、推薦書及び成績証明書によって評価します。また、各専攻に対する明確な志望動機や入学後の研究意欲等を有しているかを、面接試験及び推薦書によって評価します。

社会人特別入試

急速な進展と多様化・高度化が進む科学技術の発展に貢献する高度な専門技術者・研究者の育成を主な目的として、社会経験を有する人々を積極的に受け入れる社会人特別入試を行います。本入試では、志望分野の専門的知識及び研究遂行能力等を有しているかを、口頭試問、研究業績書、推薦書（任意）及び成績証明書によって評価します。また、各専攻に対する明確な志望動機や入学後の研究意欲等を有しているかを、面接試験、研究計画書及び推薦書（任意）によって評価します。

外国人留学生特別入試

グローバル化が進む現代社会の中で、我が国や母国等において志望分野を中心に国際的に活躍することを目指す外国人留学生を積極的に受け入れるために、外国人留学生入試を行います。本入試では大学院で学ぶために必要な基礎学力及び専門分野の専門的知識を有しているかを、外国語と専門科目の筆記試験、口頭試問、推薦書及び成績証明書によって評価します。また、専門分野での学習及び研究を遂行するための能力や資質を有しているかを、口頭試問と推薦書によって評価します。さらに、各専攻に対する明確な志望動機や入学後の研究意欲等を有しているかを、面接試験及び推薦書によって評価します。

工学系研究科（博士前期課程）で学ぶために必要な能力や適性等とその評価方法

観点	入学後に必要な能力や適性等	評価方法	入試方法	対象専攻
知識・理解・思考・判断	大学院で学ぶために必要な汎用的な基礎学力及び専門的な知識	専門科目の筆記試験と TOEIC 等のスコアによって、専門分野で学ぶために必要な基礎学力を評価します。	一般入試	全専攻
		専門科目の筆記試験によって、基礎学力及び専門分野の専門的知識を評価します。	外国人留学生特別入試	物理科学専攻 知能情報システム学専攻 機械システム工学専攻 電気電子工学専攻
		専門科目の口述試験によって、基礎学力及び専門分野の専門的知識を評価します。	一般入試	数理科学専攻
			外国人留学生特別入試	数理科学専攻 循環物質化学専攻 都市工学専攻 先端融合工学専攻
		成績証明書によって、最終出身学校での学業成績、学習態度を評価します。	一般入試 推薦入試 社会人特別入試 外国人留学生特別入試	全専攻
		推薦書によって、在学中の成績順位や現在の評価、将来性等を参考にします。	推薦入試	全専攻
		推薦書によって、推薦の理由を参考にします。	社会人特別入試（任意） 外国人留学生特別入試	全専攻
	専門分野における学習能力や研究遂行能力	口頭試問によって、専門分野での学習及び研究を遂行するための能力や資質を評価します。	推薦入試 社会人特別入試	全専攻
		研究計画書によって、これまでの研究概要と入学後の研究計画を評価します。	推薦入試	都市工学専攻
			社会人特別入試	全専攻
研究業績書によって、これまでの研究実績及び研究内容を評価します。		社会人特別入試	全専攻	
推薦書によって、推薦の理由を参考にします。	社会人特別入試（任意） 外国人留学生特別入試	全専攻		
興味・関心・態度・意欲	志望専攻で学ぶための明確な志望動機や入学後の意欲	面接試験によって、志望専攻で学ぶ動機、意欲等を評価します。	一般入試	全専攻
		面接試験と推薦書によって、志望専攻で学ぶ動機、意欲等を評価します。	推薦入試 社会人特別入試（推薦書任意） 外国人留学生特別入試	全専攻

Ⅱ 一般入試

1 募集人員

専攻	教育研究分野	募集人員
数理科学専攻	Ⅵ 教育研究分野等（目次参照） 工学系研究科の「主な研究分野」に掲げる各専攻の全ての研究分野	5人
物理科学専攻		2人
知能情報システム学専攻		6人
循環物質化学専攻		若干人
機械システム工学専攻		若干人
電気電子工学専攻		若干人
都市工学専攻		10人
先端融合工学専攻		1人

（注）募集人員は、社会人・外国人留学生特別入試による募集を含みます。

2 出願資格

次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 大学を卒業した者及び平成 30 年 3 月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者及び平成 30 年 3 月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 30 年 3 月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 30 年 3 月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国に大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成 30 年 3 月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び平成 30 年 3 月までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修行年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 30 年 3 月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）

- (9) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により他の大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学させる大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者〔次頁の（注 2）を参照してください。〕
- (10) 学校教育法第 83 条に定める大学に 3 年以上在学した者であって、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者〔次頁の（注 2）を参照してください。〕
- (11) 外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者〔次頁の（注 2）を参照してください。〕
- (12) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者〔下記の（注 2）を参照してください。〕
- (13) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成 30 年 3 月 31 日において満 22 歳に達したもの（学校教育法施行規則第 155 条第 1 項第 8 号）〔下記の（注 1）及び（注 2）を参照してください。〕

（注 1）出願資格(13)における個別の入学資格審査とは、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者等で大学卒業資格を有していない者について、大学を卒業した者と同等以上の学力があるか審査を行うものです。

（注 2）出願資格(9)、(10)、(11)、(12)及び(13)による出願希望者は、下記事項に留意の上、出願してください。（ただし、③については出願資格(10)、(11)及び(12)による出願希望者のみ）

- ① 出願資格に関する事前審査を行いますので、出願を希望する者は、平成 29 年 12 月 22 日（金）までに学務部入試課へ「出願資格認定申請書（様式院 9-1）」に「入学試験出願資格認定審査調書（様式院 9-2）」及び出願資格認定申請書に記載している提出書類を添付して申し出てください。

なお、出願希望者の経歴によっては、その他の書類等を求めることがあります。

- ② 出願資格を有すると認定された者に対し、入学願書の受け付けを行います。
- ③ 出願資格(10)、(11)及び(12)による者で、入学試験に合格した者に対しては、平成 30 年 3 月までに提出された成績証明書等により、入学資格要件（事前に本人に通知します。）を審査します。

審査の結果、入学資格要件を満たしていないと認定された者は、入学できません。

3 出願期間

- (1) 出願期間：平成 30 年 1 月 15 日（月）～1 月 18 日（木）

- ① 郵送の場合は、「簡易書留」とし、平成 30 年 1 月 18 日（木）17 時必着とします。
- ② 持参の場合は、平日の 9 時から 17 時までとします。
- ③ 入試課ウェブサイト（http://www.sao.saga-u.ac.jp/daigakuin/daigakuin_yoko.html）の「出願用封筒」に必要事項を記入し、市販の角形 2 号の封筒に貼付し提出してください。

なお、出願用封筒については、入試課においても配布を行っています。

- (2) 提出先：〒840-8502 佐賀市本庄町 1 番地 佐賀大学学務部入試課

- (3) 受験票等の送付

受験票は、試験日の 1 週間前までに届くように郵送します。

期日までに受験票が届かない場合は、平日の 9 時から 17 時までの間に学務部入試課まで、お問い合わせ

してください。

- (4) 先端融合工学専攻は，研究内容が広い分野にわたりますので，志願者は先端融合工学専攻のウェブサイト
トにアクセスし，入学後の研究分野や教育内容などを確認してください。

(URL: <http://www.fusion.saga-u.ac.jp>)

4 出願書類等（一般入試）

下記の出願書類を入試課ウェブサイト（http://www.sao.saga-u.ac.jp/daigakuin/daigakuin_yoko.html）よりダウンロードして提出してください。

区 分	備 考
入 学 検 定 料 30,000円	<p>本学所定の検定料振込依頼書を使用し、銀行窓口において検定料を納入してください。</p> <p>なお、次の場合以外は、いかなる理由があっても既納の検定料は一切返還しません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検定料を振り込んだが、本学に出願書類を提出しなかった場合 ・検定料を振り込み、本学に出願書類を提出したが、受理されなかった場合 ・検定料を誤って二重に振り込んだ場合
検 定 料 振 込 証 明 台 紙	上記検定料を納入後、銀行窓口において受領する「C票 検定料振込証明書」を台紙に貼り付けてください。
入学志願票（様式院1-2） 履 歴 書 写 真 票（様式院2-2） 受 験 票（様式院3-2）	<p>※ 印以外の所定の欄はすべて記入してください。</p> <p>写真は上半身、脱帽、正面向きで、出願前3か月以内に撮影したものを所定の欄に貼り付けてください。</p>
成 績 証 明 書	最終出身学校の成績証明書
卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書等 ^(注1)	出身大学等作成のものを提出してください。 ^(注2)
出 願 承 認 書 (様 式 院 5)	本学所定の用紙を用いてください。（ただし、在職中の者に限ります。）
返 信 用 封 筒	受験票を送付しますので、市販の長形3号の封筒の表面に受取人の住所、氏名、郵便番号を明記し、「受験票在中」と朱書きの上、82円分の切手を貼り付けてください。
TOEIC スコア証明書 (公開テスト又はIPテスト)	<p>入学試験日から2年以内に受験したTOEICテスト（公開テスト又はIPテスト）のスコア証明書の原本を提出してください。スコア証明書は受験票を発送する際に併せて返却します。^(注3)</p> <p>なお、知能情報システム学専攻のみ、今年度限り、TOEFL 公式スコアレポートの提出でも可とします。</p>
住 所 届（様式院10）	本学所定の住所届に必要な事項を記入してください。
在留資格を証明する書類	<p>○日本国籍を有しない者で、現に日本国内に在住しているときは、市区町村長の発行する「住民票」の写し（在留資格が記載されたもの）を提出してください。（在留カード又は外国人登録証明書の表裏両面をコピーしたものでも可）</p> <p>○出願時に日本国内に在住していない者は、パスポートの写し（写真及び在留資格・期間の分かるページ）を提出してください。</p>

(注1) 合格者について、平成30年3月卒業見込みの者（本学出身者を除きます。）は「卒業証明書」を、出願資格(2)にかかる学位取得見込み者は、「学位記」の写し又は「学位授与証明書」を卒業後速やかに提出してください。

(注2) 出願資格(2)にかかる者のうち、短期大学の専攻科又は高等専門学校の専攻科等を卒業（修了）見込みの者については、学士の学位の授与申請予定証明書を添付してください。

(注3) 今年度入試から、全志願者 TOEIC スコア証明書の提出が必要です。

試験当日のスコア提出は認めません。出願期間内に提出できない者は、書類不備で出願受理しませんので注意してください。

知能情報システム学専攻のみ、今年度限り、TOEFL 公式スコアレポートの提出でも可とします。

熊本地震で被災された佐賀大学志願者への入学検定料の免除について

1. 免除申請の要件

入学検定料の免除を申請できるのは、次に該当する者です。

- ① 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合
- ② 主たる家計支持者が死亡又は行方不明の場合

2. 申請方法

事前に学務部入試課に連絡し、該当すると判断された者は、所定の申請書類を出願書類とともに提出してください。

3. 申請書類

(ア)「入学検定料免除申請書」

本学ホームページ「入試案内、大学院、募集要項」からダウンロードできます。

なお、ご請求頂ければ、郵送により送付します。

(イ)「被災証明書（写し可）」（上記1.①に該当する者）

(ウ)「死亡又は行方不明を証明する書類」（上記1.②に該当する者）

5 入試方法

入学者の選抜は、学力試験、面接及び成績証明書を総合して判定します。

① 学力試験（筆記又は口述試験）

(1) 筆記試験

ア 専門科目

専攻	専門科目－1	専門科目－2
数理科学専攻	微分積分学，線形代数学	筆記試験を課さず，口述試験を課します。
物理科学専攻	力学，電磁気学	量子力学，統計力学
知能情報システム学専攻	数学（微分積分学，線形代数学），プログラミング	形式言語とオートマトン，記号論理学，情報理論，計算機アーキテクチャ（2科目を選択解答） ※（注1）
循環物質化学専攻	基礎化学	無機化学，有機化学，物理化学，分析化学・化学工学
機械システム工学専攻	微分方程式，線形代数学，確率・統計	流体工学，熱力学，機械力学，材料力学，機械工作（3科目を選択解答）
電気電子工学専攻	微分方程式，複素関数論，線形代数学	電気回路，電磁気学
都市工学専攻	微分積分学，微分方程式，線形代数学	
先端融合工学専攻	数学（微分方程式，線形代数学，確率・統計，複素関数論），	1群（流体工学，熱力学，機械力学，材料力学，機械工作から3科目を選択解答），

	化学 I 数学基礎 (1 科目を選択解答) ※(注 2)	2 群 (電気回路, 電磁気学), 3 群 (化学 II), 4 群 (小論文) (4 つの科目群から一つを選択解答) ※(注 3)
--	---------------------------------------	--

※専門科目は、電卓の持込み不可とします。

(注 1) 佐賀大学理工学部知能情報システム学科出身以外の志願者は、一部を小論文で充てることができます。

(注 2) 佐賀大学理工学部機能物質化学科、機械システム工学科、電気電子工学科出身以外の志願者は数学基礎を選択することができます。

(注 3) 佐賀大学理工学部機能物質化学科、機械システム工学科、電気電子工学科出身以外の志願者は第 4 群を選択することができます。

イ 外国語科目

英語

全専攻において、英語の試験を実施せず、TOEIC のスコアで判定します。

知能情報システム学専攻のみ、今年度限り、TOEIC または TOEFL のスコアで判定します。

(「4 出願書類等 (一般入試)」を参照してください。)

(2) 口述試験

数理科学専攻において、専門科目－2 については、筆記試験を課さず口述試験を行います。代数学、幾何学、解析学の中から 1 科目を選択し、専門分野の内容を問います。

② 面接 専攻ごとに行います。

6 試験日時等

(1) 集合時間・集合場所：(受験票を必ず持参してください。)

受験者は、受験票とともに送付される受験案内に記載されている試験室に、試験開始 30 分前までに入室してください。

(2) 学力試験等日程

● 平成 30 年 2 月 16 日 (金)

専攻	午前		午後		面接	試験時間
	科目名	試験時間	科目名	試験時間		
数理科学専攻	微分積分学 線形代数学	10:00 ～ 12:00	口述試験 (面接を含みます。)	13:30 ～	面接	16:00 ～ 17:00 ～ 17:00 ～ 13:00 ～ 17:00 ～
物理科学専攻	力学 電磁気学		量子力学 統計力学	13:00 ～ 15:00		
知能情報システム学専攻	形式言語とオートマトン、記号論理学、情報理論、計算機アーキテクチャ (2科目を選択解答)※(注1)		数学(微分積分学、線形代数学)	13:00 ～ 14:30		
			プログラミング	14:40 ～ 16:10		
循環物質化学専攻	基礎化学		無機化学、有機化学、物理化学、分析化学・化学工学	13:00 ～ 16:00		
機械システム工学専攻	微分方程式 線形代数学 確率・統計		流体工学、熱力学、機械力学、材料力学、機械工作 (3科目を選択)			
電気電子工学専攻	微分方程式 複素関数論 線形代数学		電磁気学、電気回路			
都市工学専攻	微分積分学 微分方程式 線形代数学					
先端融合工学専攻	数学(微分方程式、線形代数学、確率・統計、複素関数論)、化学Ⅰ 数学基礎 (1科目を選択解答) ※(注2)		1群(流体工学、熱力学、機械力学、材料力学、機械工作から3科目を選択解答)、 2群(電気回路、電磁気学)、 3群(化学Ⅱ)、 4群(小論文) (4つの科目群から一つを選択解答) ※(注3)	13:00 ～ 16:00		

(注1) 佐賀大学理工学部知能情報システム学科出身以外の志願者は、一部を小論文で充てることができます。

(注2) 佐賀大学理工学部機能物質化学科，機械システム工学科，電気電子工学科出身以外の志願者は数学基礎を選択することができます。

(注3) 佐賀大学理工学部機能物質化学科，機械システム工学科，電気電子工学科出身以外の志願者は第4群を選択することができます。

7 合格者発表：平成30年3月8日（木）10時

本学ウェブサイト（<http://www.saga-u.ac.jp/>）に合格者の受験番号を掲載するほか、合格者には本学所定の合格通知書をもって通知します。

なお、電話による合否に関する問い合わせには一切応じかねますのでご了承ください。

8 環境・エネルギー科学グローバル教育プログラムについて

循環物質化学専攻・機械システム工学専攻・電気電子工学専攻・都市工学専攻・先端融合工学専攻では、平成25年10月1日に、アジア諸国の発展と先端的科学技術開発の国際ネットワーク構築に貢献できるグローバル人材を育成するために、「環境・エネルギー科学グローバル教育プログラム」を開設しました。このプログラムでは日本人学生と外国人留学生が共学し、すべての教育研究指導が英語で行なわれます。

本プログラムを履修できる日本人学生の受入人員は5名で、合格者発表後、上記専攻で出願書類のTOEICスコア証明書のスコアが650点程度の合格者を対象に希望者を募り選抜します。

外国人留学生に対しては、本プログラム用の入試を別途実施します。

Ⅲ 社会人特別入試

1 趣旨

科学技術の進歩，社会の複雑化のなかで社会人の学修希望が高まり，再教育に対するニーズが高まっています。

本学大学院においては，大学卒業後，社会経験を経た人を受け入れて，大学学部より高度の研究活動を行い，開かれた大学院として社会に役立つ研究と技術開発の推進を図り，あわせて，生涯教育に寄与しようとするものです。

この選抜により入学した者に対しては，大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例による教育を実施しています。<18 ページ参照>

2 募集人員

専攻	教育研究分野	募集人員
数理科学専攻	Ⅵ 教育研究分野等（目次参照） 工学系研究科の「主な研究分野」に掲げる各専攻の全ての研究分野	若干人
物理科学専攻		若干人
知能情報システム学専攻		若干人
循環物質化学専攻		若干人
機械システム工学専攻		若干人
電気電子工学専攻		若干人
都市工学専攻		若干人
先端融合工学専攻		若干人

3 出願資格

次のいずれかに該当する者で，2 年以上（平成 30 年 3 月 31 日までの間）官公庁，企業又は教育機関等の現業に従事している者又は従事した者としします。

なお，合格者のうち「2 年以上」という要件を平成 30 年 3 月 31 日で満たした者については，入学時にその旨の証明書を提出してください。その時点でこの要件を満たしていないことが判明した場合は入学を取り消します。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において，学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (5) 我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において，修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により，学士の学位に相当する学位を授与された者及び平成 30 年 3 月までに授与され

る見込みの者

- (7) 専修学校の専門課程(修行年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学させる大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者〔次頁の(注2)を参照してください。〕
- (10) 学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学した者であって、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者〔次頁の(注2)を参照してください。〕
- (11) 外国において学校教育における15年の課程を修了し、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者〔次頁の(注2)を参照してください。〕
- (12) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者〔下記の(注2)を参照してください。〕
- (13) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成30年3月31日において満22歳に達したもの(学校教育法施行規則第155条第1項第8号)〔下記の(注1)及び(注2)を参照してください。〕

(注1) 出願資格(13)における個別の入学資格審査とは、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生やその他の教育施設の修了者等で大学卒業資格を有していない者について、大学を卒業した者と同等以上の学力があるか審査を行うものです。

(注2) 出願資格(9)、(10)、(11)、(12)及び(13)による出願希望者は、下記事項に留意の上、出願してください。(ただし、③については出願資格(10)、(11)及び(12)による出願希望者のみ)

- ① 出願資格に関する事前審査を行いますので、出願を希望する者は、平成29年12月22日(金)までに学務部入試課へ「出願資格認定申請書(様式院9-1)」に「入学試験出願資格認定審査調書(様式院9-2)」及び出願資格認定申請書に記載している提出書類を添付して申し出てください。

なお、出願希望者の経歴によっては、その他の書類等を求めることがあります。

- ② 出願資格を有すると認定された者に対し、入学願書の受け付けを行います。

4 出願期間

- (1) 出願期間：平成30年1月15日(月)～1月18日(木)

① 郵送の場合は、「簡易書留」とし、平成30年1月18日(木)17時まで必着とします。

② 持参の場合は平日の9時から17時までとします。

③ 入試課ウェブサイト (http://www.sao.saga-u.ac.jp/daigakuin/daigakuin_yoko.html) の「出願用封筒」に必要事項を記入し、市販の角形2号の封筒に貼付し提出してください。

なお、出願用封筒については、入試課においても配布を行っています。

- (2) 提出先：〒840-8502 佐賀市本庄町1番地 佐賀大学学務部入試課

(3) 受験票等の送付

受験票は、試験日の1週間前までに届くように郵送します。

期日までに受験票が届かない場合は、平日の9時から17時までの間に学務部入試課まで、お問い合わせください。

(4) 先端融合工学専攻は、研究内容が広い分野にわたりますので、志願者は先端融合工学専攻のウェブサイトアクセスし、入学後の研究分野や教育内容などを確認してください。

(URL: <http://www.fusion.saga-u.ac.jp>)

5 出願書類等 (社会人特別入試)

下記の出願書類を入試課ウェブサイト (http://www.sao.saga-u.ac.jp/daigakuin/daigakuin_yoko.html)よりダウンロードして提出してください。

区 分	備 考
入 学 検 定 料 30,000円	本学所定の検定料振込依頼書を使用し、銀行窓口において検定料を納入してください。 なお、次の場合以外は、いかなる理由があっても既納の検定料は一切返還しません。 ・検定料を振り込んだが、本学に出願書類を提出しなかった場合 ・検定料を振り込み、本学に出願書類を提出したが、受理されなかった場合 ・検定料を誤って二重に振り込んだ場合
検 定 料 振 込 証 明 台 紙	上記検定料を納入後、銀行窓口において受領する「C票 検定料振込証明書」を台紙に貼り付けてください。
入学志願票 (様式院1-3) 履 歴 書 写 真 票 (様式院2-3) 受 験 票 (様式院3-3)	※ 印以外の所定の欄はすべて記入してください。 写真は上半身、脱帽、正面向きで、出願前3か月以内に撮影したものを所定の欄に貼り付けてください。
成 績 証 明 書	最終出身学校の成績証明書
卒 業 (修 了) 証 明 書 等	最終出身学校の卒業 (修了) 証明書等
研 究 業 績 書 (様 式 院 7 - 2)	研究論文、技術報告書、特許、実用新案、卒業研究報告書等本人の業績又は業務内容を示すもの。本学所定の用紙を用いてください。
研 究 計 画 書 (様 式 院 7 - 1)	大学院における自己の希望する研究内容 (1,000字以内)。本学所定の用紙を用いてください。
出 願 承 認 書 (様 式 院 5)	本学所定の用紙を用いてください。
推 薦 書 (様 式 は 任 意)	勤務先所属長又は従事した勤務先所属長が推薦し、厳封したもの。ただし、任意提出とします。
返 信 用 封 筒	受験票を送付しますので、市販の長形3号の封筒の表面に受取人の住所、氏名、郵便番号を明記し、「受験票在中」と朱書きの上、82円分の切手を貼り付けてください。
住 所 届 (様 式 院 1 0)	本学所定の住所届に必要事項を記入してください。

「住民票」，「在留カード」 又は「外国人登録証明書」の 写し	○日本国籍を有しない者で、現に日本国内に在住しているときは、市区町村長の発行する「住民票」の写し（在留資格が記載されたもの）を提出してください。（在留カード又は外国人登録証明書の表裏両面をコピーしたものでも可） ○出願時に日本国内に在住していない者は、パスポートの写し（写真及び在留資格・期間の分かるページ）を提出してください。
--------------------------------------	---

熊本地震で被災された佐賀大学志願者への入学検定料の免除について

1. 免除申請の要件

入学検定料の免除を申請できるのは、次に該当する者です。

- ① 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合
- ② 主たる家計支持者が死亡又は行方不明の場合

2. 申請方法

事前に学務部入試課に連絡し、該当すると判断された者は、所定の申請書類を出願書類とともに提出してください。

3. 申請書類

(ア)「入学検定料免除申請書」

本学ホームページ「入試案内、大学院、募集要項」からダウンロードできます。

なお、ご請求頂ければ、郵送により送付します。

(イ)「り災証明書（写し可）」（上記1.①に該当する者）

(ウ)「死亡又は行方不明を証明する書類」（上記1.②に該当する者）

6 入試方法

入学者の選抜は、口述試験のほか、提出された研究業績書、修学したい研究課題・専攻する専門分野の内容等についても面接試験を行い、学力、面接、成績証明書及び研究業績書等を総合して判定します。

7 試験日時等

(1) 集合時間・集合場所：(受験票を必ず持参してください。)

受験者は、受験票とともに送付される受験案内に記載されている試験室に、試験開始 30 分前までに入室してください。

(2) 学力試験等日程：平成 30 年 2 月 16 日（金）

専 攻	口述試験及び面接
数理科学専攻	13 : 30～
物理科学専攻	10 : 00～
知能情報システム学専攻	
循環物質化学専攻	
機械システム工学専攻	
電気電子工学専攻	
都市工学専攻	
先端融合工学専攻	

8 合格者発表：平成30年3月8日（木） 10時

本学ウェブサイト（<http://www.saga-u.ac.jp/>）に合格者の受験番号を掲載するほか、合格者には本学所定の合格通知書をもって通知します。

なお、電話による可否に関する問い合わせには一切応じかねますのでご了承ください。

9 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例による教育の実施について

近年、大学院における社会人技術者、研究者等の再教育への要望は高まっていますが、通常の教育方法のみで大学院教育を実施した場合、社会人は最低2年間その勤務を離れて修学することが必要となるため、大学院教育を受ける機会が制約されがちです。

このため、大学院設置基準第14条では、「修士課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合は、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」旨規定されて、社会人等の修学に配慮がなされています。

本学大学院工学系研究科では、大学院での履修を希望する社会人技術者等に対し、同条に定める教育方法の特例による教育を実施しています。

この概要は、次のとおりです。

- (1) 2年のうち最初の1年間はフルタイムの通学をすることを原則とし、課程修了に必要な30単位のうち20単位以上は通常の授業時間帯における履修によって修得します。
- (2) 特例の授業時間帯は、夜間の1時限（18時00分～19時30分）とし、当該授業の履修によって修得した単位のうち10単位までを課程修了に必要な単位数に含めることができます。
- (3) 学生には、年度始めに2年間にわたる開講計画を予告し、指導教員の指導のもとに2年間を見通した履修計画を立てさせます。

IV 外国人留学生特別入試

1 募集人員

専攻	教育研究分野	募集人員
数理科学専攻	VI 教育研究分野等（目次参照） 工学系研究科の「主な研究分野」に掲げる各専攻の全ての研究分野	若干人
物理科学専攻		若干人
知能情報システム学専攻		若干人
循環物質化学専攻		若干人
機械システム工学専攻		若干人
電気電子工学専攻		若干人
都市工学専攻		若干人
先端融合工学専攻		若干人

2 出願資格

日本の国籍を有しない者で、次のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した後、日本の大学に入学し、卒業した者及び平成 30 年 3 月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者及び平成 30 年 3 月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 30 年 3 月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 30 年 3 月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成 30 年 3 月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び平成 30 年 3 月までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修行年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 30 年 3 月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）

- (9) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により他の大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者〔次頁の（注 2）を参照してください。〕
- (10) 学校教育法第 83 条に定める大学に 3 年以上在学した者であって、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者〔次頁の（注 2）を参照してください。〕
- (11) 外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者〔次頁の（注 2）を参照してください。〕
- (12) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者〔下記の（注 2）を参照してください。〕
- (13) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成 30 年 3 月 31 日において満 22 歳に達したもの（学校教育法施行規則第 155 条第 1 項第 8 号）〔下記の（注 1）及び（注 2）を参照してください。〕

（注 1）出願資格(13)における個別の入学資格審査とは、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生やその他の教育施設の修了者等で大学卒業資格を有していない者について、大学を卒業した者と同等以上の学力があるか審査を行うものです。

（注 2）出願資格(9)、(10)、(11)、(12)及び(13)による出願希望者は、下記事項に留意の上、出願してください。（ただし、③については出願資格(10)、(11)及び(12)による出願希望者のみ）

- ① 出願資格に関する事前審査を行いますので、出願を希望する者は、平成 29 年 12 月 22 日（金）までに学務部入試課へ「出願資格認定申請書（様式院 9-1）」に「入学試験出願資格認定審査調書（様式院 9-2）」及び出願資格認定申請書に記載している提出書類を添付して申し出てください。

なお、出願希望者の経歴によっては、その他の書類等を求めることがあります。

- ② 出願資格を有すると認定された者に対し、入学願書の受け付けを行います。
- ③ 出願資格(10)、(11)及び(12)による者で、入学試験に合格した者に対しては、平成 30 年 3 月までに提出された成績証明書等により、入学資格要件（事前に本人に通知します。）を審査します。
- 審査の結果、入学資格要件を満たしていないと認定された者は、入学できません。

3 出願期間

- (1) 出願期間：平成 30 年 1 月 15 日（月）～1 月 18 日（木）

- ① 郵送の場合は、「簡易書留」とし、平成 30 年 1 月 18 日（木）17 時まで必着とします。
- ② 持参の場合は平日の 9 時から 17 時までとします。
- ③ 入試課ホームページ（http://www.sao.saga-u.ac.jp/daigakuin/daigakuin_yoko.html）の「出願用封筒」に必要事項を記入し、市販の角形 2 号の封筒に貼付し提出してください。

なお、出願用封筒については、入試課においても配布を行っています。

- (2) 提出先：〒840-8502 佐賀市本庄町 1 番地 佐賀大学学務部入試課

- (3) 受験票等の送付

受験票は、試験日の 1 週間前までに届くように郵送します。

期日までに受験票が届かない場合は、平日の 9 時から 17 時までの間に学務部入試課まで、お問い合わせください。

- (4) 先端融合工学専攻は、研究内容が広い分野にわたりますので、志願者は先端融合工学専攻のウェブサイトにアクセスし、入学後の研究分野や教育内容などを確認してください。

(URL: <http://www.fusion.saga-u.ac.jp>)

4 出願書類等（外国人留学生特別入試）

下記の出願書類を入試課ウェブサイト（http://www.sao.saga-u.ac.jp/daigakuin/daigakuin_yoko.html）よりダウンロードして提出してください。

区 分	備 考
入 学 検 定 料 30,000円	<p>本学所定の検定料振込依頼書を使用し、銀行窓口において検定料を納入してください。</p> <p>なお、次の場合以外は、いかなる理由があっても既納の検定料は一切返還しません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検定料を振り込んだが、本学に出願書類を提出しなかった場合 ・検定料を振り込み、本学に出願書類を提出したが、受理されなかった場合 ・検定料を誤って二重に振り込んだ場合
検 定 料 振 込 証 明 台 紙	上記検定料を納入後、銀行窓口において受領する「C票 検定料振込証明書」を台紙に貼り付けてください。
入学志願票（様式院1-4） 写 真 票（様式院2-4） 受 験 票（様式院3-4）	<p>※ 印以外の所定の欄はすべて記入してください。</p> <p>写真は上半身、脱帽、正面向きで、出願前3か月以内に撮影したものを所定の欄に貼り付けてください。</p>
成 績 証 明 書	最終出身学校の成績証明書
卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書等 ^{（注1）}	出身大学等作成のもの。 ^{（注2）}
推 薦 書 （ 様 式 院 4 ）	学部長又は指導教員の記載によるもの。本学所定の用紙を用いてください。
履 歴 書 （ 様 式 院 8 ）	本学所定の用紙を用いてください。
返 信 用 封 筒	受験票を送付しますので、市販の長形3号の封筒の表面に受取人の住所、氏名、郵便番号を明記し、「受験票在中」と朱書きの上、82円分の切手を貼り付けてください。
住 所 届 （ 様 式 院 10 ）	本学所定の住所届に必要事項を記入してください。
「住民票」、 「在留カード」 又は「外国人登録証明書」の 写し	<p>○現に日本国内に在住している者は、市区町村長の発行する「住民票」の写し（在留資格が記載されたもの）を提出してください。（在留カード又は外国人登録証明書の表裏両面をコピーしたものでも可）</p> <p>○出願時に日本国内に在住していない者は、パスポートの写し（写真及び在留資格・期間の分かるページ）を提出してください。</p>

（注1）合格者について、平成30年3月卒業見込みの者（本学出身者を除きます。）は「卒業証明書」を、出願資格(2)にかかる学位取得見込み者は、「学位記」の写し又は「学位授与証明書」を卒業後速やかに提出してください。

（注2）出願資格(2)にかかる者のうち、短期大学の専攻科又は高等専門学校の専攻科等を卒業（修了）見込みの者については、学士の学位の授与申請予定証明書を添付してください。

熊本地震で被災された佐賀大学志願者への入学検定料の免除について

1. 免除申請の要件

入学検定料の免除を申請できるのは、次に該当する者です。

- ① 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合
- ② 主たる家計支持者が死亡又は行方不明の場合

2. 申請方法

事前に学務部入試課に連絡し、該当すると判断された者は、所定の申請書類を出願書類とともに提出してください。

3. 申請書類

(ア)「入学検定料免除申請書」

本学ホームページ「入試案内, 大学院, 募集要項」からダウンロードできます。

なお、ご請求頂ければ、郵送により送付します。

(イ)「り災証明書（写し可）」（上記1.①に該当する者）

(ウ)「死亡又は行方不明を証明する書類」（上記1.②に該当する者）

5 入試方法

入学者の選抜は、修学に必要な学力、能力及び専攻する専門分野の内容等について、学力試験及び面接試験を行い、学力及び面接等を総合して判定します。

(1) 学力試験

専攻	試験科目①	試験科目②	試験方法
数理科学専攻	微分積分学 線形代数学 専門分野（代数学，幾何学， 解析学から選択）		口述試験 (面接を含みます。)
物理科学専攻	力学，電磁気学	量子力学，統計力学	筆記試験
知能情報 システム学専攻	数学（微分積分学，線形代数学） プログラミング	形式言語とオートマトン， 記号論理学，情報理論，計 算機アーキテクチャ（2科 目を選択解答） ※（注1）	筆記試験
循環物質化学専攻	化学		口述試験 (面接を含みます。)
機械システム 工学専攻	数学（必須） 微分方程式，線形代数学，確 率・統計 専門科目 流体工学，熱力学，機械力学， 材料力学，機械工作から2科 目を選択 ※（注2）		筆記試験
電気電子工学専攻	数学 電磁気学，電気回路		筆記試験
都市工学専攻	希望する分野の専門科目		口述試験 (面接を含みます。)
先端融合工学専攻	希望する分野の専門科目 ※（注3）		口述試験 (面接を含みます。)

(注1) 佐賀大学理工学部知能情報システム学科出身以外の志願者は、一部を小論文で充てることができます。

(注2) 機械システム工学専攻志願者は、入学志願票の所定の欄に選択する専門科目2科目を記入してください。(数学は必須)

(注3) 先端融合工学専攻志願者は、機械系，電気系，化学系等の分野から選択回答してください。
(21 ページ 3 出願期間の (4) を参照ください。)

(2) 面接 専攻ごとに行います。

6 試験日時等

(1) 集合時間・集合場所（受験票を必ず持参してください。）

受験者は、受験票とともに送付される受験案内に記載されている試験室に、試験開始 30 分前までに入室してください。

(2) 学力試験等日程

● 平成 30 年 2 月 16 日（金）

専 攻	学 力 試 験			面 接
	専 門 科 目	試験方法	試験時間	
数理学専攻	微分積分学 線形代数学 専門分野（代数学，幾何学，解析学から選択）	口述試験 (面接を含みます。)	13 : 30～	
物理学専攻	力学，電磁気学 量子力学，統計力学	筆記試験 筆記試験	10 : 00～12 : 00 13 : 00～15 : 00	16 : 00～
知能情報 システム学専攻	形式言語とオートマトン，記号論理学，情報理論，計算機アーキテクチャ（2科目を選択解答） ※（注1）	筆記試験	10 : 00～12 : 00	17 : 00～
	数学（微分積分学，線形代数学）	筆記試験	13 : 00～14 : 30	
	プログラミング	筆記試験	14 : 40～16 : 10	
循環物質化学専攻	化学	口述試験 (面接を含みます。)	10 : 00～	
機械システム 工学専攻	数学（必須） 微分方程式，線形代数学，確率・統計	筆記試験	10 : 00～12 : 00	15 : 30～ (面接では，卒業論文の概要説明を日本語又は英語で 15 分程度行ってください。)
	専門科目 流体力学，熱力学，機械力学，材料力学，機械工作から 2 科目を選択	筆記試験	13 : 00～15 : 00	
電気電子工学専攻	数学 電磁気学，電気回路	筆記試験 筆記試験	10 : 00～11 : 00 13 : 00～15 : 00	15 : 30～
都市工学専攻	希望する分野の専門科目	口述試験 (面接を含みます。)	10 : 00～	
先端融合工学専攻	希望する分野の専門科目	口述試験 (面接を含みます。)	10 : 00～	

(注1) 佐賀大学工学部知能情報システム学科出身以外の志願者は，一部を小論文で充てることができます。

7 合格者発表：平成30年3月8日（木） 10時

本学ウェブサイト（<http://www.saga-u.ac.jp/>）に合格者の受験番号を掲載するほか、合格者には本学所定の合格通知書をもって通知します。

なお、電話による合否に関する問い合わせには一切応じかねますのでご了承ください。

V 入学手続等

i 入学手続

入学手続については、合格通知書を送付する際にお知らせします。

また、入学手続は郵送により行います。

手続期間：平成 30 年 3 月 23 日（金）～3 月 27 日（火）

※平成 30 年 3 月 27 日（火）は 17 時まで必着とします。

ii 納入金

入学料：282,000 円（入学手続時までに納入してください。）

授業料：267,900 円（前期・後期）〔年間 535,800 円〕

※この金額は、平成 29 年 4 月現在のものです。

（留意事項）

(1) 入学時又は在学時に納入金の改定が行われた場合には、改定後の入学料及び授業料を納入していただくことになります。

なお、合格通知送付の際、納入方法等改めてお知らせします。

(2) 授業料（前期分）は、入学手続時に納入する必要はありません。納入期間は、平成 30 年 4 月 4 日（水）から 5 月 31 日（木）です。（入学後に付与される学籍番号が必要となります。）

(3) 納入した授業料は、いかなる理由があっても返還しません。

(4) 入学料の免除及び徴収猶予ならびに授業料の免除については、合格者に送付する関係書類を熟読の上、学生生活課に申し出てください。

なお、入学料免除及び徴収猶予の申請をした者で、入学を辞退する場合は入学料の全額を納付してください。

iii 奨学金

(1) 学業優秀で、経済的な理由により修学が困難な学生のみなさんのために奨学金制度が準備されています。

① 日本学生支援機構奨学金

- ・ 第一種奨学生（無利子）

貸与月額 50,000 円又は 88,000 円

- ・ 第二種奨学生（有利子）

貸与月額 50,000 円、80,000 円、100,000 円、130,000 円、150,000 円から選択

② その他の奨学金

この他に地方公共団体及び民間育英団体等の奨学金制度があります。詳しくは、次の問い合わせ先にお尋ねください。

(2) 奨学金に対する問い合わせ先

〒840-8502 佐賀市本庄町 1 番地 佐賀大学学務部学生生活課 奨学金担当

TEL：0952-28-8172

iv 教育職員免許状

取得できる専修免許状は、別表（34 ページ）「取得できる教育職員免許状」のとおりです。

ただし、専修免許状の所要資格を得ようとする場合は、取得しようとする専修免許状（中学校教諭及び高等学校教諭の専修免許状については、その免許教科）の一種免許状を有することが必要です。

v 出願上の留意事項

- (1) 入学志願票の記入事項及び書類等の不備のものは受け付けません。
- (2) 出願書類受理後は、いかなる理由があっても記入事項及び書類の変更は認めません。
また、既納の入学検定料は一切返還しません。

入学志願票等の記入上の注意及び記入例

- 1 志願票等の記入は、募集要項を熟読の上記入してください。
- 2 ※印欄は、記入しないでください。
- 3 志願票・受験票・写真票に希望する入学年月を記入してください。
(記入例)

「志望研究科，専攻，コース・専修，講座，分野」の欄

志望研究科，専攻， コース・専修，講座，分野	コード (第4表 参照)		
工学系 研究科	2	3	
数理科学 専攻	H	I	
コース ・専修			
講座			
分野			

- 研究科及び専攻まで記入してください。
- コードは(第4表)を参照し、1コマずつ正確に記入してください。

「氏名」欄

漢字(アルファ ベット)氏名	佐賀	太郎				
フリガナ (カタカナ)	サガ	タロウ				

- 漢字等氏名
常用漢字で記入してください。(JIS漢字コードの第1・第2水準以外の文字を含む場合、その文字が置き換えられます。)

【置き換えられる文字の例】

高 → 高 崎 → 崎 桑 → 桑
土 → 土 吉 → 吉 原 → 原

「性別」及び「生年月日」の欄

性別	生 年 月 日							
男 女	西 曆	年	月	日				
<input checked="" type="checkbox"/>	1	9	9	6	0	9	1	7

- 性別は、該当する個所に✓を入れてください。
- 生年月日で、月及び日が1ケタの場合は右づめとし、1コマ目は「0」を記入してください。

「出身県等」，「留学生」及び「出身学校等」の欄

出身県等	留学生	選抜種別	出身学校等								
第1表 参照	国・地域 第2表参照		第3表 参照	卒業年月等							
				西 曆	年	月					
4	1			3	3	2	0	1	8	0	3

- 出身県等は、(第1表)により、コード番号を1コマ1ケタずつ正確に記入してください。
- 留学生は、(第2表)により、コード番号を1コマ1ケタずつ正確に記入してください。
- 出身学校等は、(第3表)により、コード番号を1コマ1ケタずつ正確に記入し、卒業年月等(見込みを含みます。)を西暦で記入してください。

「現住所及び連絡先等」の欄

●本学から出願書類等について連絡する場合もあるので、正確に記入してください。

なお、出願後、この欄に変更があった場合は電話連絡するとともに、ハガキ等でもお知らせください。

(連絡先) 〒840-8502 佐賀市本庄町1番地 佐賀大学学務部入試課

電話 0952-28-8178

「住所届」

●合格通知書は、これに記載された現住所に送付するので、正確に記入してください。

なお、出願後、住所に変更があった場合は直ちに電話で連絡し、さらに、ハガキ等でも通知してください。

(第1表) 都道府県コード

北海道	01	埼玉県	11	岐阜県	21	鳥取県	31	佐賀県	41
青森県	02	千葉県	12	静岡県	22	島根県	32	長崎県	42
岩手県	03	東京都	13	愛知県	23	岡山県	33	熊本県	43
宮城県	04	神奈川県	14	三重県	24	広島県	34	大分県	44
秋田県	05	新潟県	15	滋賀県	25	山口県	35	宮崎県	45
山形県	06	富山県	16	京都府	26	徳島県	36	鹿児島県	46
福島県	07	石川県	17	大阪府	27	香川県	37	沖縄県	47
茨城県	08	福井県	18	兵庫県	28	愛媛県	38		
栃木県	09	山梨県	19	奈良県	29	高知県	39		
群馬県	10	長野県	20	和歌山県	30	福岡県	40	外国	99

(第2表) 国・地域コード

パキスタン	101	大韓民国	113	イラン	201	ウガンダ	312	オランダ	710
インド	102	モンゴル	114	トルコ	202	エチオピア	320	ドイツ	711
ネパール	103	ベトナム	115	シリア・アラブ共和国	204	オーストラリア	401	フランス	712
バングラデシュ	104	中華人民共和国	116	バーレーン	215	ニュージーランド	402	スペイン	713
スリランカ	105	カンボジア	117	エジプト	301	カナダ	501	イタリア	715
ミャンマー	106	ブータン	118	スーダン	302	アメリカ合衆国	502	ポーランド	721
タイ	107	ラオス	119	リビア	303	ドミニカ	607	チェコ	722
マレーシア	108	ブルネイ	120	ケニア	307	ブラジル	608	ハンガリー	723
シンガポール	109	マカオ	121	タンザニア	308	ホンジュラス	618	ブルガリア	726
インドネシア	110	台湾	122	コンゴ	309	パナマ	619	スロバキア	732
フィリピン	111	朝鮮民主主義人民共和国	191	ナイジェリア	310	イギリス	707	ウズベキスタン	734
香港	112		191	ガーナ	311	ルクセンブルク	709		

(第3表) 出身学校等

佐賀大学(文化教育学部, 教育学研究科)	31	大学(国内)	22	高等専門学校専攻科	24
佐賀大学(経済学部, 経済学研究科)	32	大学(国外)	23	短期大学専攻科	25
佐賀大学(理工学部, 工学系研究科)	33			個別審査	26
佐賀大学(農学部, 農学研究科)	34			専修学校	27
佐賀大学(医学部, 医学系研究科)	35			その他	29

(第4表) 研究科, 専攻, コース・専修コード

研究科コード		専攻, コース・専修コード	
工学系研究科 (博士前期課程)	23	数理科学専攻	HI
		物理科学専攻	HJ
		知能情報システム学専攻	HK
		循環物質化学専攻	HL
		機械システム工学専攻	HM
		電気電子工学専攻	HN
		都市工学専攻	HO
		先端融合工学専攻	HP

VI 教育研究分野

専攻	講座・コース	主な研究分野
数理科学	数理科学講座	環論, 数論, 代数幾何学, 微分幾何学, リーマン多様体論, 位相幾何学, 複素幾何学, 変分法, 偏微分方程式論, 確率過程論, 確率解析学, 力学系
物理学	物理学講座	素粒子理論, 場の理論, 宇宙物理学, 弦理論, 天体核物理学, ハドロン物理学, 高エネルギー物理学, 放射線物理学, 電子波物理学, 量子光学, 固体物性実験, 極限環境物性実験, 半導体・超伝導体実験, 物質・材料物理学
知能情報システム学	知能情報システム学講座	情報理論, 符号暗号理論, 数値解析学, 複雑系の科学, 創発システム, 進化的最適化手法, 人工知能, データベース, ソフトウェア工学, ニューラルネットワーク, 情報ネットワーク学, マルチメディア, ユビキタス・コンピューティング, インターネット, 知的教育システム, 多次元逆問題, パターン情報認識/理解, コンピュータビジョン, オブジェクト指向, 遠隔教育, 音声/画像処理, 衛星リモートセンシング
循環物質化学	循環物質化学講座	多核金属錯体の構造と物性, 光学活性金属錯体の構築・物性, 環境にやさしいエネルギーデバイス, エネルギー貯蔵材料の開発, 環境に優しい有機合成反応の開発, 有機フッ素化合物の合成と利用, 生理活性物質の創生と機能評価, 生体機能制御分子の設計・合成, 有機凝集系の構造・物性, 機能性高分子材料の創成, 有機光電子材料の開発と応用, 生体関連物質の分子分光学, 液体・溶液の構造とダイナミクス, 環境中における物質の動態研究, 物質の高度分離機能の創生と評価, 機能物質を活用した資源の回収
機械システム工学	機械システム工学講座	環境流動学, 流体エネルギー開発工学, 流体機器開発工学, 熱工学, 自然エネルギー利用工学, 熱力学, 伝熱工学, 熱移動工学, 熱エネルギー変換工学, 材料力学, 材料強度学, 機械材料, 新素材, 計算力学, CAE, 有限要素法, 構造解析, トライボロジー, 塑性力学, 金属疲労, 先端複合材料, 機械設計工学, 機械要素工学, 表面工学, 精密計測, 精密加工, 生産加工学, 工作機械, 歯車工学, CAD・CAM, ロボット機構設計・計測技術, ソフトコンピューティング, 海洋エネルギー開発工学, 海洋エネルギー変換工学, 海洋エネルギー機器開発工学, 海洋流体力学, 海洋工学, 海洋エネルギー利用工学

専攻	講座・コース		主な研究分野
電気電子工学	電気電子工学講座		<p>回路設計, 集積回路, エレクトロニクス実装技術, ユビキタスネットワーク, ワイヤレス通信, マイクロ波集積回路, マイクロ波エネルギーハーベスト, 多機能平面アンテナ, マイクロ波機能回路, RF 送受信モジュール</p> <p>シンクロトロン光応用, 超高速時間分解計測, 光電子分光, 表面界面ダイナミクス, 機能性薄膜生成, 高密度プラズマ, プラズマ環境応用工学, 熱電材料, 放電プラズマ焼結</p> <p>半導体結晶, 半導体薄膜成長と物性評価, 発光デバイス, 太陽電池, 半導体ナノテクノロジー, 次世代半導体プロセス技術, パワー電子デバイス, ワイドギャップ半導体, 放電応用技術, パルスパワー工学, ネットワーク, インターネット</p> <p>計算力学, グラフィカル・ユーザ・インターフェース, ニューラルネットワーク, 自己組織化システム, 人工知能, スマートシステム, 画像計測, 遠隔計測</p>
都市工学	都市工学講座		<p>構造解析, 耐震工学, 建設材料, コンクリート構造, 地盤工学, 地盤動力学, 環境地盤工学, 応用水理, 河川工学, 水環境システム, 水資源管理, システム分析, 都市デザイン, 建築デザイン, 建築・都市史, 建築環境工学, 交通システム, 建築計画, 地域情報, 都市社会学, 都市防災, 都市計画</p>
先端融合工学	先端融合工学講座	医工学コース	<p>医療・福祉ロボット, 相変化を伴う高速流動, 高次元逆問題および波動応用計測, 振動音響工学, ロバスト適応制御, ロボティクス, 再生医療, 自動培養装置, 流体工学, 衝撃波治療, ポンプ, バイオイメーjing, 制御応用, 生体信号処理, アンチwindアップ制御, 電磁界シミュレーション, マルチイメージングシステム, ソフトコンピューティング(自己組織化マップ他), エネルギー関連材料の化学, 機能性有機材料の開発, 光で動く有機機能性化合物の開発, セラミック発光体・多孔体の開発, セラミックスのナノ構造制御, 酵素反応による高分子重合とその機能</p>
機能材料工学コース			

取得できる教育職員免許

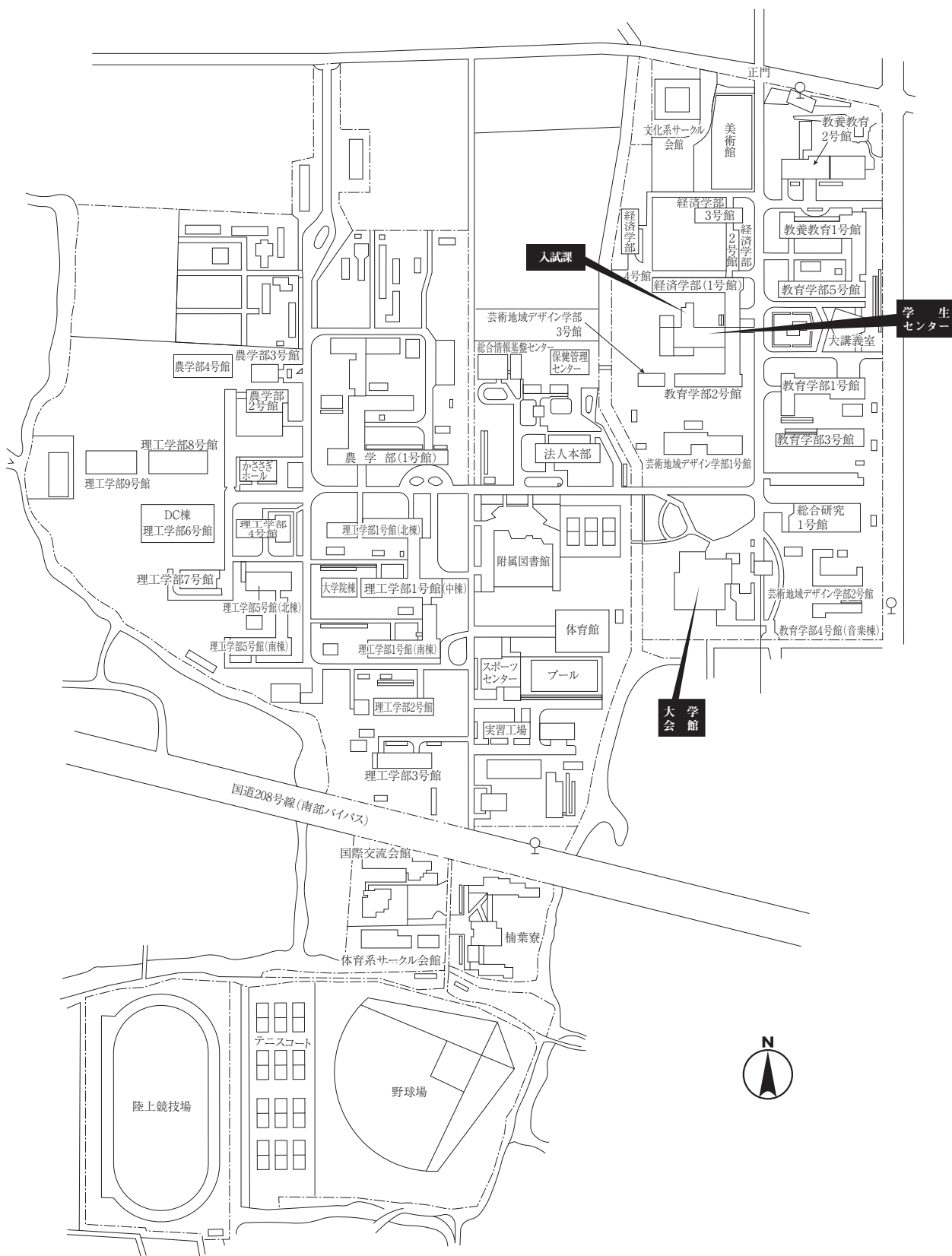
●工学系研究科

専攻	取得できる専修免許状	
	種類	教科
数理科学専攻	中学校教諭専修免許状	数学
	高等学校教諭専修免許状	数学
物理科学専攻	中学校教諭専修免許状	理科
	高等学校教諭専修免許状	理科
知能情報システム学専攻	高等学校教諭専修免許状	情報
循環物質化学専攻	中学校教諭専修免許状	理科
	高等学校教諭専修免許状	理科
機械システム工学専攻	高等学校教諭専修免許状	工業
電気電子工学専攻	高等学校教諭専修免許状	工業
都市工学専攻	高等学校教諭専修免許状	工業
先端融合工学専攻	中学校教諭専修免許状	理科
	高等学校教諭専修免許状	理科

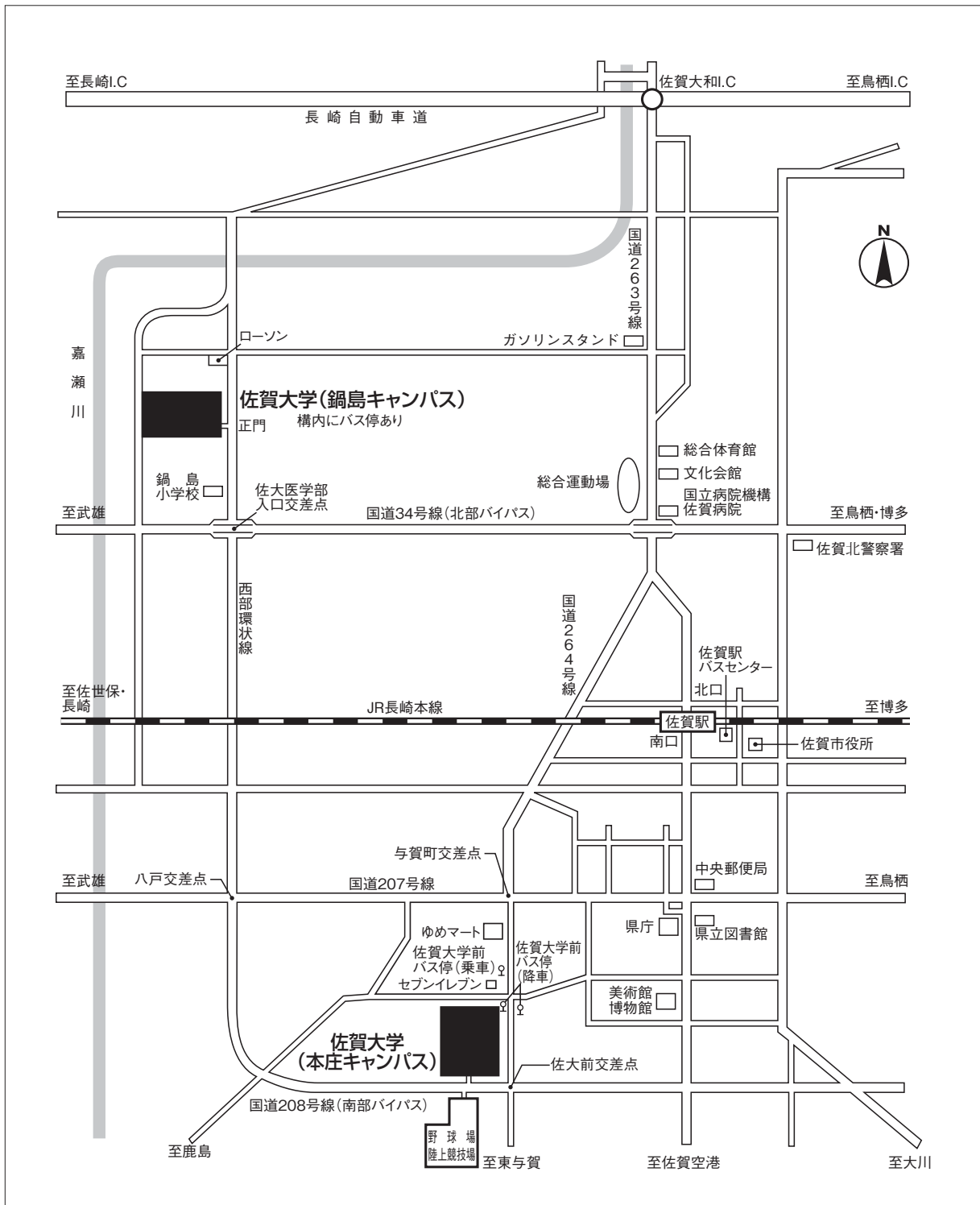
佐賀大学配置図及び佐賀大学への交通案内

佐賀大学（本庄キャンパス）配置図

[教育学部，芸術地域デザイン学部，経済学部，理工学部，農学部]



佐賀市内略図



佐賀大学（本庄キャンパス）への交通機関案内

- (1) 佐賀駅バスセンター4番のりばから市営バス〔4〕佐賀女子短大・高校線,〔11〕佐賀大学・西与賀線,〔12〕佐賀大学・東与賀線,〔4〕または〔63〕佐賀女子短大・高校線で約15分,「佐賀大学前」下車
- (2) 佐賀駅からタクシーで約10分

佐賀大学 学務部 入試課

〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1番地

TEL 0952-28-8178

ウェブサイト <http://www.saga-u.ac.jp/>

e-mail contact@mail.admin.saga-u.ac.jp